

CCSK 合格体験談

2014年7月30日

一般社団法人 日本クラウドセキュリティアライアンス 理事

諸角 昌宏

CCSK試験の受け方

- <https://ccsk-jp.cloudsecurityalliance.org/> に行き登録します
 - ✓ 日本クラウドセキュリティアライアンスのホームページから以下のタグをたどることも行けます
 - <http://www.cloudsecurityalliance.jp/index.html> => 「資格」タグ => 「CCSK日本語試験」
- Click Here to Sign Up Now! をクリックする。ここから先は、英語になります。
- NEW ACCOUNT に情報を入力して、「Continue to Step 2」をクリックする。
- Terms and Condition of Use を読んで、チェックボックスにチェックして「Continue to Step 3」をクリックする。
- Confirm Details, and Choose Payment Option 画面になるので、内容を確認して、支払方法を選択する。その後、次の画面で支払方法を入力して終了。
- HOMEページから、設定したEMAILとpasswordを入力してログインし、「Your Certificates」の中のアイコンをクリックしてテストを開始します。
- V2.1 と V3.0 の選択画面になりますので、受きたい試験を選択します。
- これで、試験開始となります。

* 注意：それぞれの画面の内容が一部日本語化されていたりしますので、上記内容は若干違う部分がありますので、注意してください。

CCSK 試験の内容

•V2.1

- 試験時間： 1時間
- 一度の登録で2回まで受験可能。
- 問題数： 50問。 問題は選択式で、4~5個の回答の中から1つを選択する。複数回答になるものは無い。
- 合格点： 80点。
- 試験内容は、CSAガイダンス2.1とENISAの「情報セキュリティに関わる利点、リスクおよび推奨事項」から出題されます。ただし、クラウドセキュリティの一般知識やAmazon EC2の機能とかが含まれています。

•V3.0

- 試験時間： 90分
- 一度の登録で2回まで受験可能。
- 問題数： 60問。 問題は選択式で、4~5個の回答の中から1つを選択する。複数回答になるものは無い。
- 合格点： 80点。
- 試験内容は、CSAガイダンス3.0とENISAの「情報セキュリティに関わる利点、リスクおよび推奨事項」から出題されます。クラウドセキュリティの一般知識についての出題は、それぞれのドメインの出題の中に内容的に含まれているようです。

CCSK 出題傾向

•V2.1

- ENISAからは、10問出題されるようです。したがって全体の20%となりますので、ウエイトはかなり高いです。
- CSAガイダンスの各ドメイン（13ドメイン）からは、最低2問は出題されるようです。あとは、ランダムに4から6問出題されるドメインがあります。
- 一般的な内容として（Appliedと記述されている）、4問程度出題されます。

•V3.0

- ENISAからは、5問出題されるようです。全体の8%程度ということで、V2.1に比べるとウエイトが下がっているようです。
- CSAガイダンスの各ドメイン（14ドメイン）からは、最低2問は出題されるようです。あとは、ランダムに2から6問出題されるドメインがあります。
- V2.1であった一般的な内容（Appliedと記述されている）は、V3.0ではなくなっているようです。クラウドセキュリティに関する一般的な内容については、各ドメインの出題に含まれているようです。

注意： あくまで経験に基づく内容ですので、参考としてとらえてください。

CCSK 対策

1. 以下のドキュメントをある程度熟読する。どこのドメインにどのような内容が書かれているかがわかるようにしておく。
 - CSA ガイダンスV3.0
http://www.cloudsecurityalliance.jp/j-docs/csaguide.v3.0.1_J.pdf
 - ENISA Cloud Computing Benefits, risks and recommendations for information security
IPAが提供している日本語版
<http://www.ipa.go.jp/security/publications/enisa/documents/Cloud%20Computing%20Security%20Risk%20Assessment.pdf>
 - ✓ 各ドメインの推奨事項については、しっかりと抑えておく。
 - ✓ ENISAの場合、ENISAでの用語の理解が必要になるので、そこは抑えておく。
2. 試験時間は十分ある。経験では、一度すべて回答し、再度すべての回答をレビューしても余るくらいの時間があるので、あせらず進める。
3. 回答ごとのチェックをうまく利用する。「Mark for review...」というボタンがあるので、不確かな回答については後でレビューできるようにこれをマークしてから次の問題に進む。
4. V3.0は、V2.1に比べて、クラウドセキュリティの一般知識で回答できる問題が増えていくように感じる（あくまで私見）。日頃から、いろいろな情報を見ておくのも有効。
5. 万が一不合格の場合、結果を見て、弱いドメインについて勉強して再度受験する

ありがとうございました

